

事務事業名	田部家古文書調査史料調査事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	小川 浩
施策名		(29) 地域文化の振興	担当者名	白神大三	電話番号(内線)	0854-40-1300
基本事業名	(088) 指定文化財の保護・保存	予算科目	会計	款	項	目
			01	510	215	315016

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(20年度~23年度)	出雲地方屈指の鉄師であり、菅谷たたらをはじめ、多くの高殿たたら製鉄を営んできた田部家が所蔵している古文書を調査し、鉄山経営の実態を把握して報告書にまとめる。また、その成果をまちづくりに活かす。	奥出雲の三大鉄師と呼ばれる三者のうち、糸原家、桜井家についてはすでに古文書調査が終了しており、田部家についても調査の意義、重要性が認められるとして平成20年度から調査を開始した。

(2) トータルコスト

	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)							
報償費〔調査員報償費〕 570千円	千円	2,600	3,250	2,600			8,450
旅費〔調査員旅費〕 180千円	千円						
需用費〔印刷製本費等〕 3,571千円	千円						
通信運搬費 30千円	千円						
事業費計(A)	千円	4,001	5,002	4,351	0	0	13,354
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)							
報告書原稿作成検討会日程調整、予算執行、報告書原稿作成作業補助、検討委員会開催業務、報告書刊行業務	人	2	2	1			
延べ業務時間	時間	300	1,211	703			
人件費計(B)	千円	1,144	4,708	2,771	0	0	8,624
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,145	9,710	7,122	0	0	21,978

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	報告書原稿作成検討会日程調整、予算執行、報告書原稿作成作業補助、検討委員会開催業務、報告書刊行業務	ア 現地調査の回数	回	6	9	3			
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 検討委員会の回数	回	2	1	1			
	平成23年度で事業完了	ウ 調査報告書印刷契約	件	-	-	1			
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	田部家所蔵古文書	⑥ 対象指標							
	ア 調査対象古文書	点	11,502	2,938	14,440				
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	調査終了した田部家古文書の報告書を刊行し、一般の方々に図書館等の公の施設で閲覧してもらうようにする。	ア 調査終了した古文書の割合	%	100	100	100			
		イ 調査報告書印刷契約	件	-	-	1			
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
上位目的	地域の伝統文化や歴史遺産に関心をもち、郷土への誇りと愛着の心を培うとともに、次世代に伝えていく。	ア 歴史遺産や地域文化に関心を持っている市民の割合	%	60.4	59.5	57.3			
		イ 過去1年間に遺産や文化財、地域文化を見たり、触れたりした市民の割合	%	42.9	50.7	44.3			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
これまで確認されていなかった新たな古文書が発見されたため、調査を延長する必要が生じた。	特になし	文化庁から調査の重要性に鑑み、全ての古文書の調査が望ましいとの助言がある。

事務事業名	田部家古文書調査史料調査事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 江戸時代、松江藩の鉄師の中で頭取を務め、日本を代表する鉄師の歴史を紐解くことは、雲南市の地域文化の振興に大いに役立つものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 古文書調査は極めて専門性が高く、市が独自で調査を行うことは困難であり、国、県の補助を得て実施するものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業目的が指定された補助事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 補助事業の目的が最終的に目録の刊行に限られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 国庫補助事業のため、途中で事業を廃止・休止することは困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 事業目的が指定された補助事業である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費のほとんどが報償、旅費、賃金等の人件費であり、削減できる余地がない
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 特殊な業務のため、専門の研究者に業務を委嘱している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 調査の成果として刊行される目録の閲覧によって市民が成果を享受できる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成20年度から開始された本事業も無事、報告書を刊行することができた。 報告書は図書館等の公の施設で閲覧が可能となる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし																							